

号外はインターネットの福島民報ホームページ（<https://www.minpo.jp/>）でもご覧になれます。

全国新酒鑑評会

県内

14

銘柄



酒類総合研究所（広島県東広島市）は24日、2022酒造年度（2022年7月～2023年6月）に製造された日本酒の出来栄を競う全国新酒鑑評会の結果を発表した。本県は14銘柄が金賞を獲得し、山形県（20銘柄）、兵庫県（19銘柄）、長野県（16銘柄）、新潟県（15銘柄）に続いて5番目に多かった。本県は新型コロナウイルス感染拡大の影響で金賞を選ばなかった2019酒造年度を挟み、都道府県別の金賞数で9連覇を達成していた。最多連続記録は途絶えたが、本県の技術力の高さは示した。

鑑評会は酒類総合研究所と日本酒造組合中央会の共催。日本酒の品質や製造技術の向上を目的に1911（明治44）年に始まった。全国規模で開かれる唯一の新酒鑑評会で今回で111回目。今回は全国から818点が出品された。4月の予審と5月10、11の両日の決審で入賞394銘柄を決めた。特に優れた218銘柄を金賞に選んだ。

金賞受賞銘柄と蔵元

金水晶	金水晶酒造店 （福島市）
陣屋	有賀醸造 （白河市）
千騎大吟醸	千騎酒造 （白河市）
あぶくま	玄葉本店 （田村市）
藤乃井	佐藤酒造 （郡山市）
東豊国	豊国酒造 （古殿町）
人気一	人気酒造 （二本松市）
奥の松	東日本酒造協業組合 （二本松市）
会州一	山口 （会津若松市）
会津吉の川	吉の川酒造 （喜多方市）
会津ほまれ	ほまれ酒造 （喜多方市）
開当男山	開当男山酒造 （南会津町）
会津男山回	男山酒造 （会津美里町）
萬代芳	白井酒造 （会津美里町）

金賞

福島の県観光物産館
きょうイベント

県観光物産交流協会は24日午後5時から、福島市のクラッセふくしま1階にある県観光物産館で金賞酒の飲み比べを行う。2銘柄700円、3銘柄1000円。

県は同日午後5時15分から、市内のまちなか広場でセレモニーを行う。